

障害男性母「誠実な支援を」

長岡京で福祉業界新人向け講座

乙訓地域で福祉関係の仕事に新人職員として従事する人たちを対象にした講座がこのほど、長岡京市井ノ内の乙訓福祉施設事務組合であり、障害のある男性の母親が家族としての思いを参加者に語りかけた。

乙訓圏域障がい者自立支援協議会の主催。3年目となる今年は、保健所の業務や障害認定などをテーマに9月から全3回の連続講座として行われ、最終回は「乙訓手をつなぐ親の会」の土岡ひとみさんが講師を務めた。

乙訓の各自治体や福祉事業所から参加した26人の参加者を前に、土岡さんは、知的小よび身体の障害と難治性てんかんの持病がある37歳の息子との生活を振り返った上で、「当事者には思いやりをもって、誠実に支援してくださるような職員になってほしい」と期待を述べた。

通所事業所の職員による普段の心がけをテーマにした講演もあり、参加者はメモを取るなどして熱心に聞き入っていた。

(松尾浩道)

10.12 京都 各社